



日米委員長 佐藤治良さん 突然の旅立ち

2026(令和8)年2月6日(金)は、第29回ウィルソンビル市短期研修帰国報告会の日でした。当日は、日米委員長の佐藤治良さんにご挨拶をいただく予定でしたが、体調不良のため欠席となりました。その後、翌7日未明にご逝去されました。お誕生日を迎えられたばかりで、満87歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 **皆に親しまれ、ウィルソンビルと喜多方をつないだ人「JIRO」治良さん**



第27回(2019年)ウィルソンビル市短期研修
 ホストファミリー レイチェル・レオさん宅にて



第6回(1994年)初めての団長(右)



第10回(1998年)



第17回(2006年)



第24回(2013年)



第26回(2017年)



第27回(2019年)

功績-LEGACY-

治良さんは、1994年(第6回)に初めて団長としてウィルソンビル市を訪問されて以来、2019年(第27回)までに14回にわたり団長を務めました。記念事業を含めると、通算16回にわたりウィルソンビル市との交流を重ねました。【研修生 延べ199人】



30周年記念事業(2018年)

FOREVER IN OUR HEARTS

治良さんが最初に団長を務めたとき、力強いリーダーシップでグループを支えてくれた一人の女子生徒(宇内敏さん)がいました。そして幾年月を経て、最後に団長を務めた際には、その生徒の娘さんをウィルソンビルへ連れていくことができました。世代を越えて受け継がれた交流。それは、長い年月を重ねてきた姉妹都市交流の確かな歩みを感じさせる出来事でもありました。そのことを、本当に感慨深げに、そして嬉しそうに語る治良さんの姿が、今も心に残っています。

— 第29回ウィルソンビル市短期研修レポート —

今年度の短期研修は、例年とは異なる時期に実施されました。12月6日から12月16日までのクリスマスシーズンに行われ、街全体が華やぐ特別な雰囲気の中での研修となりました。季節ならではの行事や交流を通じて、貴重な学びを得る機会となりました。

▼研修生一覧

STEP FORWARD 出発までの歩み

<7月3日>選考会。緊張感のある中での選考となりましたが、全員が合格し、関係者一同ほっと胸をなでおろす瞬間となりました。<8月1日>説明会。研修生同士にとっては初めての顔合わせとなり、緊張した面持ちの中にも、これから始まる研修への期待が感じられました。<10月30日~11月27日(毎週木曜日)>オリエンテーション(5回)。日米委員会やグローバル・サポーターズの皆さん等による事前準備や英会話レッスンが行われました。研修生たちは、授業や部活動の後にもかかわらず、意欲的に取り組んでいました。<12月4日>結団式(市大会議室)。研修生や保護者の皆さんの表情からは、期待とともに緊張や不安もうかがえましたが、各学校の校長先生方が温かく見守る中、出発に向けて気持ちを新たにす大切な時間となりました。

学校	学年	氏名
団長	-	金谷 祐昭
職員	-	土手 恵
第一	中1	遠藤 のぞみ
第二	中1	佐藤 奏凜
第二	中3	清水 つぐみ
第二	中3	庄司 瑞姫
第二	中3	室井 陽人
塩川	中2	五十嵐 一姫
塩川	中2	福地 咲来
塩川	中3	五十嵐 莉珠
塩川	中3	武藤 ひかり
高郷	中2	高野 葵衣
学鳳	中3	阿部 千鶴子
ザベ	中3	小澤 りお
喜多方	高1	東海林 陽妃
学鳳	高1	大竹 杏奈

週の前半は雨模様でしたが、オレゴンらしい気候を楽しむ始まりとなりました。

◀姉妹都市の絆と、さらなる発展への願いがハートに込められています。

航太くんと偶然の再会!

現在、アメリカの大学に留学中。2日間、サポートしてくれました。

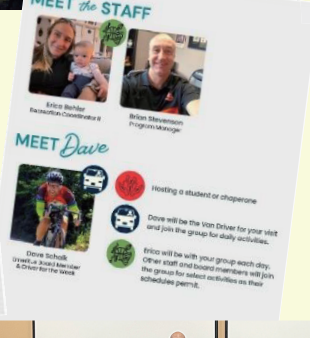


▲第27回研修生 国西航太くん

heARTs of Wilsonville

ウィルソンビル市到着 - 「温かな歓迎の中で」

12月6日、ウィルソンビル市に到着しました。到着後すぐにホストファミリーと対面し、それぞれの家庭での生活が始まりました。(研修生一人ひとりの経験については、報告記「オレゴンより愛をこめて」をご覧ください。)ウィルソンビル市では、2025年1月にショーン・オニール新市長が就任されました。親日的な市長として、ウェルカムやフェアウェルディナーにも出席され、心のこもったメッセージをいただきました。ボードメンバーの皆様にも温かく迎えていただき、市を挙げての歓迎を受けました。



▼12月7日ウェルカムディナー 「喜多方のまちの魅力」を発表



▲ショーン・オニール市長
ご家族とともに温かく迎えていただきました

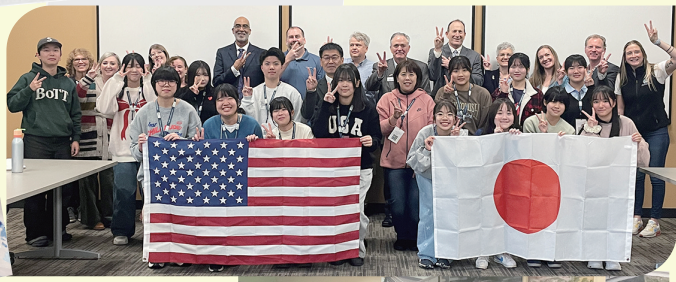
▼12月8日市役所の皆さんと

Wilsonville Program Schedule

12月6日(土)	喜多方出発・ウィルソンビル到着/ホストファミリーと対面
12月7日(日)	ホストファミリーと自由行動/ウェルカムディナー
12月8日(月)	市長たちの朝食会/市役所見学ツアー クラッカマスコムニティーカレッジ見学 シニアとの昼食/ビンゴゲーム/油絵体験
12月9日(火)	ウィルソンビル図書館見学/リトルフリーライブラリー活動 Wendy'sで休憩(シェイク)/ピザ作り
12月10日(水)	ウィルソンビル高校/ボウリング
12月11日(木)	ルイス&クラークカレッジキャンパスツアー -ポートランドDAY- ワールドフォレストセンター パインストリートマーケットで昼食/Hopscotch(ホップスコッチ)
12月12日(金)	ジンジャーブレッド作り/ポートランド美術館 -ポートランドDAY- シェイクシャックで昼食 パウエルズ書店/在ポートランド領事事務所訪問
12月13日(土)	ホストファミリーと自由行動/フェアウェルディナー
12月14日(日)	ウィルソンビル出発/ロサンゼルス着
12月15日(月)	ロサンゼルス出発
12月16日(火)	喜多方到着



▼油絵体験



Kitakata Room▶

—Special thanks—

“ここに来るまでの道のりには、オリエンテーションを通して多くの支えがありました。蓮沼ひみさん、瓜生賢恵さん、山口佳代子さん、中村口ダさん、アルシケン・アーサーさん。本事業に関わってくださった全ての皆さまに心より感謝いたします。”



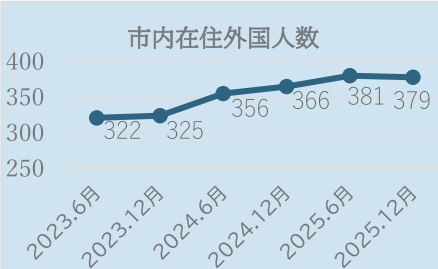
注目されています - 「外国人相談窓口」

「外国人相談窓口」事業は、2年目を迎えました。 ▼増加傾向にあります

喜多方に住む外国人は379人(2025年12月末現在)で、そのうち6割以上が就労者です。国別では、①フィリピン(91名)②ベトナム(86名)③中国(49名)④インドネシア(46名)の順に多く、近年は、特に病院や介護施設で働く外国人が増えています。相談件数は2025年12月末現在で55件となっています。当協会では外国人だけでなく日本人側からの相談も複数いただいています。これは一緒に働く外国人を心配する喜多方のおもてなし文化を感じる部分でもあります。

交流会で楽しく学んでいます

今年度は5回の交流事業を計画しました。5回目の「ラーメン作り交流会」はやむを得ない事情により実施を見送ることとなりましたが、イスラム教徒(ムスリム)にも配慮した「ハラール対応」の準備を進めていました。インドネシアは人口の8割超がムスリムの国であり、市内でも増加傾向にあることを踏まえた取組でした。準備していた食材は子ども食堂へ寄付し、地域の中で役立てていただきました。



<外国人相談窓口に寄せられる主な相談内容>

- ①交流 ②日本語学習 ③雇用 など

「外国人材雇用セミナー」今年度も開催!

喜多方に住む外国人の皆さんが、「住んで良かった」と思えるような環境づくりに、今後も取り組んでまいります。



お花見団子交流会 4月26日



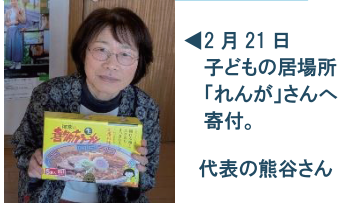
防災交流会 8月30日



自転車講習会 10月12日



新年交流会 1月17日

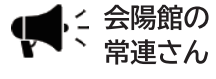


◀2月21日
子どもの居場所「れんが」さんへ寄付。
代表の熊谷さん



外国人材雇用セミナー10月23日

Column

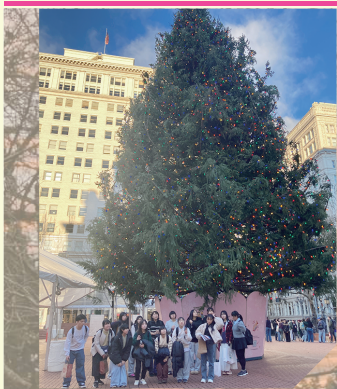


2024年5月から会陽館で業務を行っています。おかげさまで多くの方に立ち寄っていただき、日々ありがたさを感じています。そんな中、ほぼ毎日のように顔を見せてくれる「常連さん」がいます。一匹の「黒猫」です。道路を渡る前には右を見て左を見て、車の往来を確かめてから横断します。その愛らしい姿に、思わず笑みがこぼれます。



◀12月10日
ウィルソンビル高校生たちと交流。今年7月、喜多方でまた会いましょう！
See you in Kitakata!

▼ウィルソンビル高校生たちとボウリング交流



▲ポートランドの広場
クリスマスシーズンならではの一枚。「アメリカは何もかもが大きい！」その言葉どおりのスケールを感じたひとときでした。



▲12月12日
代々引き継いできた伝統「友情」の石碑の前で

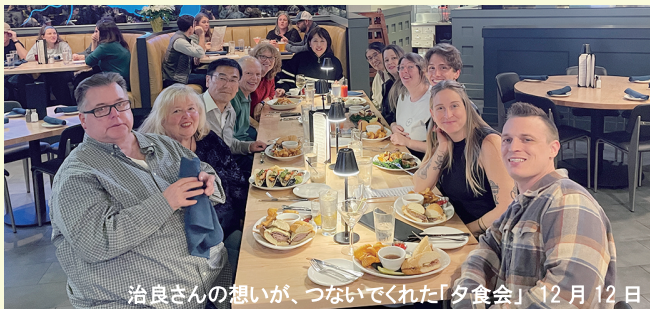
12月13日さよならディナー▶
全員で輪になって踊った「会津磐梯山」。
笛と太鼓を披露してくれた、
瑞姫さんと陽人くんへ感謝！
Thank you!



12月14日ウィルソンビル出発の朝



◀ボードメンバーの皆さんからいただいた
私たち協会への贈り物
“イエティのクリスマスツリーオーナメント”
—これからも友情の輪が広がり続けますように—



治良さんの想いが、つながってくれた「夕食会」12月12日

帰国報告ムービー



◀研修の様子を
ご覧いただけます

外国人相談窓口を支えてくださる
-相談員の皆さま-

▼山口佳代子さん
防災交流会



▼蓮沼ふみさん
お花見団子交流会



▲瓜生賢恵さん
新年交流会



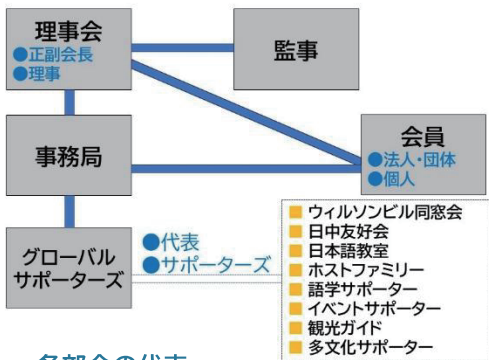
相談員の皆さまをはじめ、
日頃よりご協力いただいている
方々に感謝いたします。

紹介します！
「グローバル・サポーターズ」

2025年6月5日の総会で立ち上げをご報告したボランティア団体「グローバル・サポーターズ」。国際交流協会ならではの新たな取り組みとして、いよいよ動き始めました。まだ手探りの部分もありますが、少しずつ活動を進めています。

さらに、三年後に迎える姉妹都市40周年に向けて、ウィルソンビル同窓会も本格始動。同窓会代表の瓜生賢恵さんを中心に、記念事業へ向けた期待が高まっています。これからの広がりが楽しみです。

グローバル・サポーターズ 関係図



各部会の代表

■喜多方・ウィルソンビル同窓会

瓜生 賢恵



皆さんのアイデアも
大歓迎です！

■日中友好会

田中 勉

ウィルソンビル市をこよなく愛する仲間が集う、あたたかなファンクラブのような同窓会です。訪問時の思い出や学びを語り合

■日本語教室

■ホストファミリー

庄司 英喜

いながら、世代や立場を越えて交流の輪を広げていきます。その絆を次の世代へとつなぎ、姉妹都市交流のさらなる発展を目指します。ぜひ一緒に盛り上げていきましょう！

■語学サポーター

蓮沼 ふみ

■イベントサポーター

戸田 由美/夏井 洋子

■観光ガイド

折笠 敦子/山口 佳代子

■多文化サポーター



グローバル・サポーターズ発足6月5日

Column



同居人の
正体は…

会陽館に移った当初、館内にフンが落ちており、「ネズミがいるかも」と気にしながら仕事をしていました。ある日、奥の戸が開きにくなり、ふと見ると上からぺたんこになったコウモリが落下。残業中に聞こえていた低い羽音の主も、どうやらコウモリだったようです。フンの主はネズミではなくコウモリ。まさかの“同居人”に、職員一同驚かされた出来事でした。

会陽館を拠点に

会陽館に事務所を移して、二年が経ちました。小田付通りに面した蔵造りの建物の一角に拠点を構え、日々活動を続けています。伝統的な蔵の空間で国際交流に取り組む、その意外な組み合わせも、協会のひとつの特色になっています。
2023年に県の「外国人住民と地域との共生モデル事業」を終え、現在は国の「外国人相談窓口事業」に取り組むなど、多文化共生の分野にも力を注いでいます。
自主事業も広がりを見せ、市からの委託事業とあわせて、喜多方の地に多様な交流のかたちを育てています。

◎喜多方市立第三中学校

「多文化理解プログラム」(5月-6月)

昨年度の多文化共生推進事業の実績を受け、学校からの依頼により、「多文化理解」をテーマとした授業を実施しました。5~6月に全3回(計6時間)、中学3年生を対象に行い、その成果は10月の文化祭で発表されました。

<第1回「世界を知ってみよう」>(5月20日)

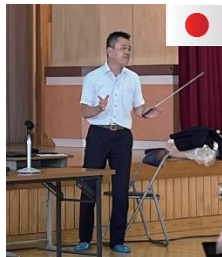
JICA 海外協力隊としてコロンビアに派遣された経験を持つ 鞍田真里氏を講師に迎え、世界の現状や途上国での暮らし、国際協力について学びました。



<第2回「世界を体験してみよう」>(5月26日)

3グループに分かれて異文化体験を実施しました。それぞれの講師の指導のもと、文化の違いを体感しました。

- ・ Bangladesh 料理体験 講師: オマル・オサマ氏
- ・ 中国文化とカンフー体験 講師: 鈴木愛利氏
新田元子氏/新田芳奈恵氏
- ・ フィリピンの文化紹介と遊び体験 講師: 中村ロダ氏



<第3回「世界とつながろう」>(6月17日)

やさしい日本語講師の福島哲也氏を迎え、「やさしい日本語」を学びました。相手に伝わりやすい表現やコミュニケーションについて考え、最後に3回の学びを振り返りました。

◎日本語教室 20周年記念事業(10月8日)

日本語教室 20周年を記念し、当時の立ち上げメンバーや日本語ボランティア講師、生徒など関係者総勢 38名が集まり、思い出を語り合いながら歩みを振り返る、温かな会となりました。



凡例 ◎協会自主事業 ▲多文化共生推進事業(市委託事業)

▲◎「JICA 二本松訪問学習」バスツアー(8月8日)



▲世界の民族衣装を体験!



▲昼食のフィリピン料理。食を通じた異文化体験!

小・中学生を含む16名が参加しました。施設では、海外協力隊の派遣前訓練の様子や、世界各国の民芸品・民族衣装を体験。ゲームを交えながら国際協力や協力隊の活動について学びました。さらにヨルダンで活動された隊員の体験談から、現地の暮らしや文化への理解を深めました。施設見学を含む約4時間の学習を通じ、国際協力を身近に感じる一日となりました。

▲◎ふるさとカルタ制作中(9月-)

子どもたちにはふるさと意識と英語を、外国人には日本語を、そんな思いで制作を進めています。読み札は完成し、現在は英訳と絵札の制作に取り組んでいます。完成は2026年度の予定です。



▲制作チーム。楽しく進めています。

◎日本語ボランティア入門講座(9月28日)

増える在住外国人への支援体制づくりとして、日本語ボランティア入門講座を開催し、18名が参加しました。講師は福島医療専門学校日本語学科主任の鈴木奈々江先生(共著『読む聞く考える日本語トレーニング』出版)。やさしい日本語の基礎を学びながら、外国人との接し方についてもわかりやすく指導いただき、今後のボランティア活動に活かされる学びの場となりました。

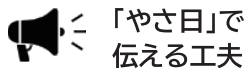


◎各地の取り組みから学ぶ(7月11月12月)

今年度は、三春町や白河市から当協会へ視察にお越しいただきました。私たちも米沢市に赴き、日本語教室の運営や多文化共生事業の取り組みについて学びました。各地の関係者が切磋琢磨し、国際交流・多文化共生事業の充実を目指しています。



Column



「やさ日」で伝える工夫

私たちが日常で使う日本語も、相手に伝わる工夫が必要です。外国人にも分かりやすい簡単な日本語は「やさしい日本語(やさ日)」と呼ばれ、子どもや高齢者、障がいのある方にも役立ちます。福島県の2022年度外国人住民アンケートでは、84.1%が理解できる言語として「日本語」と回答しており、英語よりも日本語での伝達が生活に役立つことが分かります。

▲ Touch the World from Kitakata (7月・8月)

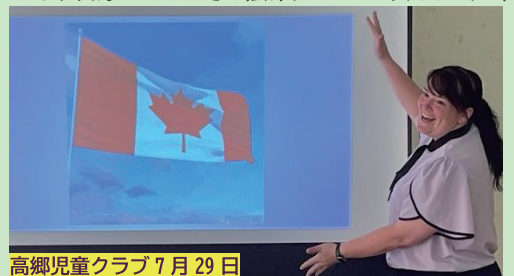
山都児童クラブ 8月4日



「Touch The World From Kitakata」は、他国の文化や言葉に触れながら喜多方の魅力を再発見する事業です。児童クラブでは、英語をきっかけに子どもたちが世界と出会い、それぞれの視点で新たな発見を重ねています。ローレンさんとの活動を通して、「世界」と「喜多方」のつながりを感じています。



▼カナダ出身のローレンさん(会津グローバルネットワークス)



高郷児童クラブ 7月29日

🇺🇸 マイケルさんの英語活動で広がる学びの場

喜多方の子どもたちが英語にそして世界に親しむ機会を増やすため、マイケルさんがさまざまな場で英語活動を展開しています。

◎しおかわ幼稚園での「英語であそぼう！」(有料プログラム)

月に2回幼稚園を訪問し、園児たちは歌やゲームを通して、遊びながら楽しく英語に触れています。



しおかわ幼稚園 2月26日

◎喜多方市立図書館での「英語で絵本の読み聞かせ」(6月14日・9月6日)

小学生と保護者を対象に、図書館との共催で行われる活動です。英語の絵本を通して、親子で楽しく学べる時間を提供しています。



英語で絵本の読み聞かせ 6月14日

▲市内こども園での英語活動(6月-12月)各園1回

昨年度に引き続き、市内のこども園で英語活動を実施しています。園児たちは遊びや歌を通して、楽しみながら英語に触れています。

マイケルさんとの楽しい時間の中で、喜多方の子どもたちは遊びながら英語に親しみ、学びの幅を広げています。



姥堂こども園 8月21日

▲世界の料理教室(6月・9月)

【薬膳料理教室】(6月29日)

昨年度に続き2回目の開催となりました。鈴木愛利さんによる人気講座で、21名が参加しました。食を通して健康や文化について学ぶ機会となっており、今回は「暑い夏を乗り切るための夏バテ防止」をテーマにした薬膳を実施しました。参加者は食材の効能について学びながら、季節に合った体にやさしい料理を味わいました。



【インドネシア料理教室】(9月5日)



株河京・株河京エンタテインメント インターン留学生



▲「ソアヤム(チキン春雨スープ)」と「ナシゴレン」

インドネシアからインターンシップで来日中の大学生、アユンダさん、イルマさん、ジンガさんがヒジャブ姿で講師を務め、21名の参加者とともに代表的な家庭料理を作りました。スパイスやハーブを巧みに使うインドネシア料理が会場に豊かな香りを広げ、参加者は調理を通して食文化の違いを体感し、異文化への理解を深めました。

▼「はと麦とトウモロコシのお粥」「中華風トマトと卵のスープ」「蒸し鶏と山芋の冷菜」ほか



◎中国関係交流の動き —相互理解を深める取組—

中国関連事業に関係団体として参加しました。6月15日「日中友の会」総会、9月28日新潟総領事主催「戦後80周年シンポジウム」、11月17日の市内中学校での多文化理解出前講座および同日夜の「第26回会津地区日中友好の集い」、1月18日「日中友の会」設立10周年記念行事に出席しました。

日中副委員長 梅木信秋さんを偲んで

当協会日中委員会副委員長としてご尽力いただいた梅木信秋さんが、2月15日正午頃、満83歳でご逝去されました。



当協会の理事にご就任いただいたのはここ数年と決して長い期間ではありませんでしたが、日中交流においては長年にわたり多大なご尽力を重ねられ、本地域の友好関係の礎を築いてこられました。2月6日(金)に開催した第29回ウィルソンビル市短期研修帰国報告会にもご参加くださり、お元気なお姿を拝見していただけない、突然の訃報に接し、深い悲しみに包まれております。これまでのご貢献に心より感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。梅木さんの志を受け継ぎ、今後も日中友好の歩みを大切に重ねてまいります。

Column

📢 温かい贈り物

長年当協会を支えてくださった会員のご夫妻が、退会にあたり、感謝の気持ちとして会費10年分を寄付してくださいました。お子さまはウィルソンビル市研修をきっかけに海外へ関心を持ち、現在は航空会社で活躍されているとか。福島空港の開設時にも尽力されたそうです。今後はお孫さんたちと都会で生活されるとのことですが、その温かいお気持ちは、これからも私たちの活動の支えとなります。

温かいご支援に、
深く感謝いたします

理事会体制について 昨年11月、会津喜多方商工会議所において役員改選があり、副会頭に唐橋裕幸さんが就任されました。慣例により、当協会副会長に就任され、これに伴い理事会体制の一部変更を行いました。その後、理事二名のご逝去という大変残念な出来事があり、体制の見直しを行うこととなりました。これまでのご尽力に深く感謝申し上げるとともに、心より哀悼の意を表します。理事の選任につきましては、会則に則り、決定させていただきました。新体制のもと、これまで築いてこられた歩みを大切にしながら、協会活動のさらなる充実に努めてまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

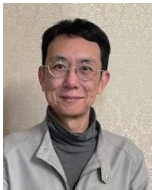
新たに理事に
加わった皆さま

日中委員会



鈴木 愛利

外国人交流支援委員会



ヤマグチ マイケル



中村 ロダ

【正副会長】				【監事】			
会長	副会長	副会長	副会長	監事	監事		
佐藤 富次郎	五十嵐 敦	磯部 英世	唐橋 裕幸	村上 将臣	佐藤 まゆみ		
【日米委員会】				【日中委員会】			
委員長	副委員長	委員	委員	委員長	委員		
庄司 英喜	山口 佳代子	瓜生 賢恵	蓮沼 ふみ	田中 勉	鈴木 愛利		
【外国人交流支援委員会】							
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
折笠 敦子	戸田 由美	高橋 宗胤	小野瀬 登紀子	高橋 亮一	沢井 清英	ヤマグチ マイケル	中村 ロダ
【事務局】							
事務局長	チーフ	専門相談員					
堀 恵子	土手 恵	五十嵐 千春					



1988年(昭和63年)喜多方市とウィルソンビル市(アメリカオレゴン州)との姉妹都市締結を機に設立され、地域国際化の交流拠点として、地域住民や民間団体、行政、企業等と連携・協働しながら喜多方市の国際交流活動を推進します。

当協会の活動にご賛同いただいている協賛団体・法人会員の皆さまです。

事業所名	事業所名	事業所名	協賛団体・法人会員 71団体
(一社)会津喜多方青年会議所	会津喜多方ライオンズクラブ	喜多方中央ロータリークラブ	個人会員 111名(2026年3月末現在)
喜多方ロータリークラブ	国際ソロプチミスト喜多方		
事業所名	事業所名	事業所名	事業所名
会津グローバルネットワークス(株)	会津商工信用組合 喜多方支店	会津信用金庫 喜多方支店	会津電力(株)
(株)アクシス	(有)朝日屋食品	アドフレックス	荒川産業(株)
(学)安應堂認定こども園しおかわ幼稚園	(有)五十嵐印刷	(株)五十嵐製麺	(株)伊藤金四郎商店
(株)岩田商店	(株)ウエステック	(株)ヴェルリンク	(有)江川建設重機
(有)おお多	小野瀬工業(株)	カーシーカシマ(株)喜多方工場	樫内建設工業(株)
カランドリエ	(株)河京	(一社)喜多方観光物産協会	喜多方グリーンホテル
喜多方ブル自工(株)	北宮諏方神社	木之本漆器店	(協)蔵のまち喜多方老麺会
(福)啓和会	(医)健仁会 あきもと整形外科クリニック	(株)小枝屋一平	(株)COCKPIT121
(医)昨雲会 飯塚病院	(医)佐原病院	(医)子博会 高橋小児クリニック	(株)島崎組
JUKI会津(株)	(有)新丁子屋	(株)スカイ運輸	(有)瀬野消防器店
(医)爽陽会 鳴瀬病院	(株)曾我製麺	(株)ダイゴ	(株)大東銀行 喜多方支店
(株)高橋建設	東條 貞一郎	(株)東邦銀行 喜多方支店	土地家屋調査士樟山裕康事務所
(有)中野商店	(医)日新会 入澤病院	日中友の会	NPO法人日中友好技術人材交流協会
(株)日東商事	(株)ノーリン	日吉工業(株)	(名)星商店
ほまれ酒造(株)	(有)松本屋	マツモトプレジジョン(株)	(有)真美商
(株)丸正	(有)みつい生花店	(有)峰の雪酒造場	(医)山田産婦人科医院
(有)やまだズ	夢心酒造(株)		(五十音順/敬称略)

編集後記

ジローさんの突然の訃報には、驚き以外の言葉が見つかりませんでした。報告会が予定されていたその日、「体調が悪いので欠席」という、意外にお元気そうなお返事をいただいたばかりだったからです。その現実を受け止めきれずにいるうちに、今度は梅木さんまでも…。協会にとって、ジローさんは姉妹都市、梅木さんは友好都市の、それぞれ心強い相談相手でした。お二人という羅針盤を同時に失い、大きな支えを失った思いです。事務局三名で、協会としての今後のあり方について改めて話し合い、その結果を正副会長にご相談しました。その協議を経て、今回の会報に掲載した新しい理事会の形がうまれました。まるでお二人から「この機会に新しい風を取り入れなさい」と励まされているかのように感じています。お二人が残された足跡を胸に、新しい理事の皆さまと共に、確かな歩みを進めてまいります。佐藤治良さん、梅木信秋さんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

事務局 局長 堀恵子